

Okaya Art and Archaeological Museum **NEWS** vol.4

岡谷美術考古館だより



ワークショップ「美術考古館の窓にひまわりの絵を描こう!」



市立岡谷美術考古館

おかげ様で開館1周年

「文化を核にしたまちづくり」の拠点となる施設を目指し、童画館通りに移転・開館してから平成26年11月3日に1周年を迎えた。

開館1周年記念特別企画展

「おかやメタルArt Zoo —金属でつくられる動物たちー」

10月9日(木)～12月8日(月)

岡谷美術考古館が動物園に大変身!?

多摩美術大学教授の野口裕史氏をはじめとする現代美術工芸家集団が創作した、動物をモチーフにした金属彫刻作品38点が、美術館内にとどまらず、周辺のおかや童画館通り商店街の店舗にも展示されました。会期中には、野口裕史氏の作品解説による「おかやメタルArt Zoo歩いて巡ろう!作品鑑賞ツアー」を開催するなど、ご来館の皆様にかわいくて、かっこよくて、なんだかちょっとユーモラス!?な動物彫刻作品をお楽しみいただきました。



多摩美術大学教授 野口裕史氏による作品解説



童画館通りに展示している作品を見つけにいこう!



野口裕史 「天空伝説・胎動」



ユーモラスな作品が並ぶ



林ちひろ「私はあなたに恋をした」

また、開館1周年を迎えた11月3日には、記念セレモニーとイルフ童画館との共同ワークショップ「こーことイルフのモビールをつくろう」を開催し、参加者の方々は、素敵なモビール作品づくりを楽しんでいらっしゃいました。



おかや童画館通りのイメージキャラクター
「かやちゃん」とともに移転・開館1周年をお祝い



開館1周年記念セレモニーの後に「こーことイルフのモビールをつくろう」



特別企画展関連ワークショップ in おかやフェスタ2014

10月11日(土)

まちなかの賑わい創出をメインテーマに開催されるおかやフェスタにあわせて、開館1周年記念特別企画展の関連ワークショップ「金属の素材に触れてみよう!銅版レリーフ作り」を行いました。



歩行者天国となって賑わった童画館通り



テラスではコンサートも開かれました



おかや童画館通り商店街軽トラ市

7月13日(日)・9月21日(日)

朝早くから、たくさんの新鮮な野菜などが販売されて、賑わう中、外テラスにてワークショップ「火おこし体験&おこした火で野菜を焼く!」や「岡谷考古学はかせ検定2014」を開催しました。



火おこし大成功!



検定に挑戦! カヤちゃん

第62回 岡谷きつね祭り

第45回 岡谷太鼓祭り

7月26日(土)

8月13日(水)・14日(木)

岡谷きつね祭りでは、「縄文体験 弓矢であそぼう!」を行い、縄文時代の狩猟の難しさを体験していました。また岡谷太鼓祭りでは、ワークショップ「ミニ太鼓作り」を行いました。



まちじゅう芸術祭「諏訪の長い夜」

8月22日(金)～23日(土)

「諏訪の長い夜」のイベントとして、夜10時まで開館時間を延長して、おかや音楽協会の皆様によるコンサートや、牛乳パックで作るライト作り＆点灯式、また普段見ることができない夜の美術考古館ツアーなどを開催しました。



ライトアップされた夜の美術考古館



岡谷西部中学校 TAKOYAMA うたごえ講座のみなさんによる合唱

岡谷まち歩き古本市

第3回:4月29日(火)～5月6日(火)

第4回:10月29日(水)～11月3日(月・祝)

市内6会場を巡る「岡谷まち歩き古本市」に美術考古館も参加しました。



▲岡谷まち歩き古本市「ほっと一息 おはなし会～むかしばなしを中心に～」

たのしの森市2014

11月29日(土)・30日(日)

クラフト作家の手作り品の販売やライブ、人形劇などを行う複合イベント「たのしの森市」が開催されたララオカヤに出張して、ワークショップ「勾玉作り」を行いました。



古代の人が身につけていた勾玉を作つてみよう!

旅するムサビがやってきたin岡谷

2月19日(木)～21日(土)

武蔵野美術大学(ムサビ)が全国各地を旅して、学校や美術館などと連携をし、作品の鑑賞や造形活動を行って、ともに学びあう「旅するムサビ」に参加しました。



作家の話に耳を傾けます



会場となった岡谷市立長地小学校 作品を鑑賞し自由に意見を交わした

○ 美術展示この1年

fine arts

収蔵作品展 I

「宮原麗子・むつ美～スペインの風・薰り～」

5月15日(木)～8月25日(月)

宮原麗子と次女むつ美の母娘による油彩画二人展を開催しました。母娘ともに惹かれた土地・スペインを題材にした当館初公開の新収蔵作品を中心に展示し、濃厚な色彩が降り注ぐ、スペインの風と薰りを感じる作品をご来館の皆さまにお楽しみいただきました。会期中には、作家によるギャラリートークやワークショップなども開催し、多くのお客様にご来館いただきました。



宮原むつ美ワークショップ 共同制作コラージュ

収蔵作品展 II

「彫刻になった女たち—永遠の美—」

8月28日(木)～12月1日(月)

郷土の彫刻家、武井直也、武井斌、小口節三、清水多嘉示の女性彫刻像を中心とした展示。女性彫刻像のもつ多彩な美をご紹介しました。



収蔵作品展 III

「津金雀仙と20世紀の書家」

12月4日(木)～平成27年3月2日(月)

当館所蔵の津金雀仙の作品を中心に、20世紀に活躍した岡谷市出身の書家・八幡郊外、八幡竹邨、太田谷山の作品をあわせ、全21点を展示しました。現代書とよばれる多様な



ジャンルが派生した20世紀の書。“古典書”と“現代書”の中でせめぎあつた激動の時代。その時代に生きた信州の作家たちの書をご紹介しました。

交流ひろば展示・企画展

「増沢莊一郎が育てた岡谷の版画と子どもたち」

4月19日(土)～5月18日(日)

双燈社版画部会で活躍し、教員として学校での版画教育にも精力的に取り組んだ増沢莊一郎が、田中小学校、小井川小学校の教員時代に収集・保存していた昭和30年頃の児童作品を展示しました。



懐かしい作品を見て思いを馳せます

「ガッコウアート、出張中！」

8月1日(金)～10月6日(月)

市内の学校に眠っている郷土の作家の絵画・彫刻などの作品を集めて、一般の方には普段見ることのできない学校の美術作品をご紹介しました。

会期中、田中小学校所蔵の昭和32年6学年共同版画作品の展示をきっかけに、当時、熱心に版画を指導した担任、丸茂長四郎先生を囲んだ同窓会も開かれました。



提供：岡谷市民新聞社

「第22回岡谷市内小学校児童版画展」

2月7日(土)～3月1日(日)

市内8小学校から入選された児童の作品を展示。22回を迎えた今年度も、力作が勢ぞろいしました！



教育委員会賞「力比べ」 宮澤 佳良 (川岸小6年)

縄文時代から奈良・平安時代まで岡谷市内の遺跡から出土した土器・石器・金属製品などを常設展示しています。一部、展示替えも行っていますので、ご紹介します。

企画展示コーナー

考古展示室の一角にある、美術館・博物館の世界で「壁ケース」と言われる、天井までガラス張りとなっている場所が企画展示コーナーとなっています。

「コハク・ヒスイー古代のヒカリモノ」

平成25年11月～平成26年9月

平成25年11月のリニューアルオープン時より展示を行ってきました。開館前にヒスイの産地である新潟県糸魚川に職員が行って、手に入ってきたヒスイなども飾りました。梨久保遺跡から出土した縄文時代のヒスイ製の勾玉やコハク製の装身具を中心に黒曜石なども展示しました。



「近年の市内発掘調査速報展」

平成26年10月～

平成20年度～25年度に行われた個人住宅建設に伴う発掘調査で出土した縄文時代から平安時代の土器、石器、金属器を出土状態の写真とともに展示しました。



今月の逸品

考古展示室の一角を見て、「この展示ケース……どこかで見たような……」

と思った方は、現在、新病院が建設中の昔の岡谷蚕糸博物館・美術考古館に足しげく通ったことがある方ではないですか？

お察しのとおり、この「今月の逸品」展示ケースは昔の美術考古館の考古展示室で、あの国重要文化財「海戸遺跡出土 顔面把手付深鉢形土器」が入っていた展示ケースになります。

新しい美術考古館になり、重要文化財の顔面把手付深鉢形土器は立派な展示ケースの中に納まりました。古いこの展示ケースを処分してしまうのはかわいそうなので、常設展では展示できない遺物の中から、特に見ていただきたいものを選んで展示しています。

「今月の逸品」は「今月」とは言っていても、時の経つのは早いので、1ヶ月はすぐに経過してしまいます。より多くの人に見ていただきたいため、数ヶ月ごとに「今月の逸品」を展示替えしてきました。

今月の
逸品
展示品



櫻垣外遺跡 顔面把手付深鉢形土器



目切遺跡 彩文土器



岡谷丸山遺跡 矢柄研磨器

毎月楽しみ! 子どもたちの笑顔があふれるワークショップ

平成26年度、さまざまなワークショップやイベントを計60回開催し、延べ1400人の皆さんにご参加いただきました。



こいのぼりはし袋を作ろう



ステンドグラス風
クリスマスアートカード作り



ダンボールで巨大建築!
美術考古館にサグラダファミリア



ハロウィンイベント!火おこしでマシュマロを焼こう



ひまわりを描く!



人のかたちっておもしろい!
自分の体を紙に型取りしよう



宮原むつ美コラージュワークショップ



巨大ゾートロープ作り



巨大動物を作ろう!



勾玉作り



紙版画の未年の年賀状を作ろう



まゆちゃん
フェイスペインティング



新聞紙粘土で実寸大の人体彫刻を作る!



作って戦え!紙ずもう大会



敬老の日にプレゼント!
土偶ネックレス



太鼓祭りを盛り上げ隊!ミニ太鼓作り



土器パズル作り



湊小学校放課後子どもの居場所づくり
「あそぼう日」 土器コラージュ



▲紙版画の未年の年賀状



▲風鈴をデザイン!
透明ガラスに絵付け



▲紙粘土で動物を作ろう!



▲土偶とまつぼっくりの
クリスマスリース



▲銅版レリーフ作り

岡谷美術考古館に届いた素敵なお年賀状

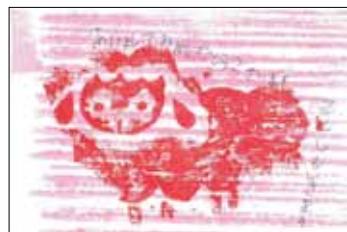
1月1日、岡谷美術考古館のポストにはたくさんの年賀状が届きます。その中でも、ひときわ目をひくとっても素敵な年賀状が職員のもとに届きました♪

この年賀状は、年末のワークショップ「紙版画で未年の年賀状を作ろう!」に参加してくれた小学校1年生のお友達が、岡谷美術考古館で刷った版画を年

賀状にして送ってくれたものです。年賀状には、「あけましておめでとうございます。ことしもいきます。」の文字が。かわいいヒツジの絵と嬉しい言葉に職員一同、年初めからあたたかい気持ちになりました。

ワークショップやイベントなどを通じて、ご来館いただいたお客様に、以後何度も足を運んでいただけるような充実した施設

を目指し、今後も様々な催しを開催していきます。



訃報 辰野登恵子先生がご逝去

平成26年9月、長野県岡谷市出身で、日本の現代美術を牽引する画家として活躍していた辰野登恵子先生がご逝去されました。辰野先生からは、「生まれ故郷の美術館に自身の代表作といえる作品を」という思いから油彩・版画作品11点を寄贈していただいています。

当館では、「辰野登恵子追悼展」を3月6日から5月10日まで開催しています。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



辰野登恵子先生

素敵な作品の数々に会場は大賑わい♪

当館では、一般の方々などに、市民ギャラリーと交流ひろばの展示スペースの貸し出しを行っています。

今年度も様々な展示会を開催していただき、素敵な作品の数々に会場は常に大賑わい♪なかには、作品に感動されて、毎日ご来場くださるお客様もいらっしゃいました!!!

平成26年度 市民ギャラリーと交流ひろばで開催された展示会

4月 「笠原一子 日本画色紙展」

5月 「第7回もゆるー六つの感性・作家6人展ー」

6月 「花岡哲象 第55回記念 絹本日本画展」

12月 「中山道古写真展」

1月 「花岡克行・山岡巻人 二人展」

「岡谷市放課後子どもの居場所づくり事業 岡谷・田中・神明・湊小学校による合同作品展」



花岡哲象 第55回記念
絹本日本画展

市民ギャラリーや交流ひろばで個展をしませんか?

興味のある方は、当館まで、
お気軽に問い合わせください!!!



当館のホームページ <http://www.okaya-museum.jp/> から「利用案内」がダウンロードいただけます。

例えば、市民ギャラリーを7日間借りた場合

※1日9時間使用し、ご来場された方に無料で作品を公開する場合は

・使用料金 5,000円×7日間=35,000円 ・空調設備費 150円×9時間×7日間=9,450円 合計44,450円となります。

コラム

「美術考古館のお雛様」



今、当館の受付には二つの手作りお雛様が飾っています。ひとつは、九十歳のお客様が作って下さったものです(写真上)。そのお雛様はどんぐりの帽子(殻斗という)部分に人形が一体一体収まっている、とっても細くて小さなもので、たくさんの美しい生地が使われていて、とても綺麗です。早く渡したいからと、急いで作って下さったそうです。もうひとつは、岡谷市内の小学校に通う一年生の男の子が作ってくれたものです(写真下)。折り紙で一つ一つ丁寧に作ってくれた、カラフルでとっても立派な五段飾りのもので、一生懸命に作っていただいたことが伝わってきます。この一年間を思い返してみると、地域の方々やお客様の温かさを感じます。当館で何かイベントをしたいという時、いつも快く協力してくださる商店街や地域の方々、近隣の美術館や博物館のスタッフさんたち、そして日々ご来館くださるお客様。それからいつも元気いっぱいにイベントに参加してくれる子どもたちや、その保護者の方々。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。いつも本当にありがとうございます。

話は戻りますが、お雛様は三月三日を過ぎると、仕舞うのが、昔からの慣わしですが、受付に飾つたお雛様は、もう少しの間、飾らせていただこうと思います。このお雛様たちを見ていると、また心が温かくなりますので。

ミュージアムグッズのご紹介

当館ではミュージアムグッズや作品集、書籍なども販売しております。

クリアファイル A4サイズ 2種類 各300円

あなたの大切な書類、土器と土偶が全力でお守りします☆

絵はがき 全10種類 各100円

旅先から気になるあの人へ「思い出」を綴ってみませんか？

美術考古館オリジナルストラップ 丸型300円 角型500円

当館売れ行きNO.1!!! ときめきオリジナルストラップ☆

一筆箋 370円

さりげないデザインで様々な用途にお使い頂けます!!

勾玉キット 400円

世界にひとつだけのオリジナル勾玉をつくろう!☆☆大人気です!!

勾玉ストラップ 450円

根強い人気のお守り系ストラップ。絶賛発売中です☆

オリジナルクリップ 2コ150円

秘密の裏メニュー!!職員手作りのほっこりクリップです!!

ほかにも・・・

・根岸芳郎展作品集
カラー32ページ 1,000円

・野村千春展作品集
カラー34ページ 1,000円

・旧林家住宅報告書 2,000円

・おかや歴史の道 文化財めぐり ガイド編 1,530円

・市内遺跡発掘調査報告書 各種



今回紹介できなかったグッズや書籍など、まだまだたくさんの商品がございますので
ぜひ一度ご来館ください☆☆

岡谷市の美術館・博物館等を巡るなら共通入館券が断然 おトク!

- 共通入館券をお使いいただける施設は、
 - ・市立岡谷美術考古館
 - ・イルフ童画館
 - ・旧渡辺家住宅
 - ・岡谷蚕糸博物館
シルクファクトおかや
 - ・旧林家住宅
- の5施設です。

共通入館券料金表

	2館	3館	5館
一般	650円	900円	1,100円
高校生	600円	700円	900円
中学生	300円	500円	600円
小学生	300円	350円	400円



タイプ別！共通入館券の選び方

気になる2館を
お得に見るなら！

3日間で岡谷の見どころを
見て回りたいなら！

時間をかけてゆっくり
岡谷の文化に触れたいなら！

(発行日から1年間有効)



※ 2館及び3館共通入館券の有効期限は、発効日から3日間、5館共通入館券の有効期限は、発効日から1年間とします。

※共通入館券は各館受付にて販売しております。お気軽にお問い合わせください。